

盲腸線 その二

今津南線

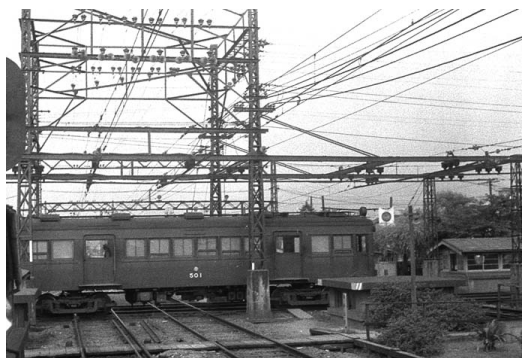
1,6 km

阪急電鉄は、オモシロイ会社であると思う。

鉄道会社は、各社競ってネットワーク化をねらい、競合他社路線とも相互乗り入れを実現するなどしてでも路線を接続して利便性を向上させ、乗客確保に必死の努力をしている環境下において、今ごろ路線の切り離しを行い、盲腸線をつくったのである。

不思議

今津線を西宮北口駅から南側を切り離し、神戸線のホーム拡張のために、郊外電車の平面交差点としては日本一であった『西宮北口駅の平面交差点』がなくなり、利便性と名物をなくしたのである。
(現在では、松山市内の伊予電鉄の路面電車と郊外電車の平面交差点が残っているだけである)



不思議

昔、阪急電車今津駅は、阪神電車今津駅に寄り添うようにして設置されていて、緊急時の応援用に、線路も阪神と阪急はつながっていました。それが、高架工事とともに切り離されて、今ではおよそ400mほどはなれ、それぞれの駅を連絡歩道橋でつないでいるのである。もちろん線路の接続もなくなりました。このようにして分離が完成したころには、阪急と阪神が合併することになりました。(チョット歴史の皮肉ですかね?)



阪急今津駅(手前が阪神今津駅)